

# みやざき



Vol.681

## さらに向こうへ



The 75th Anniversary of the JCI Miyazaki



■企画・編集・発行

JC News Miyazaki / Vol.681 2026 SPRING

一般社団法人宮崎青年会議所 ブランディング委員会

〒880-0865 宮崎市松山1-12-7大春ビル3F TEL:0985-28-2522 FAX:0985-28-2466

## 理事長挨拶

平素は現役会員の活動、運動に多大なるご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。本年度体制が始動して早くも3カ月が経過いたしました。1月から3月末までの期間においては、最重要項目に掲げる会員拡大に対して先輩諸兄姉の皆様方からのご支援を賜り誠にありがとうございました。お陰様で本年は39名の同志が新たに仲間に加わりました。4月からの育成事業を通じて青年会議所の基礎を学んでいただき、主体性をもった活動ができる会員を増やしてまいり所存でございます。本年度のスローガンは「真価を示す PLUS ULTRA」PLUS ULTRAはラテン語で「さらに向こうへ」という意味の言葉です。私たちはJCの本質を捉え、地域課題に対して確かな成果を積み上げる。その過程で自己、さらには取り巻く人たちのリーダーシップを開発するという確固たる信念をこめました。本年、宮崎青年会議所は創立75周年の節目を迎えます。しかし、節目の年だからこそ派手さを求めるのではなく、地域にとって本当に価値のある取り組みを大切にしていきたいと考えています。対象を明確にし、地域の未来につながる事業を計画中でございます。また、75周年記念事業として、約50年前に先輩方が未来への願いを込めて植えられた「JCの山」の木々を伐採し、その売却益を活用して子どもたちの夢を叶える事業を実施する構想も進めています。先輩方の想いを次の世代へつなぐ、象徴的な取り組みにまいります。これらは、SNSを活用し活動内容はもちろん、課題の問題提起、私たちの想い、今後の展望などストーリー性のある広報を目指して展開しておりますので是非ともご覧ください。宮崎青年会議所の力は、圧倒的な行動力と情熱にあると考えます。仲間と共に学び、挑戦しながら会員一同、確かな価値を示す一年にいたします。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



真価を示す  
PLUS ULTRA



一般社団法人宮崎青年会議所  
第75代理事長  
山崎 隆太郎

## シニアクラブ会長挨拶

宮崎青年会議所並びにシニアクラブの皆様におかれましては、日頃より地域と人に向き合い続けておられることに、心より敬意を表します。

本年度、宮崎青年会議所は創立75周年、シニアクラブは65周年という節目の年を迎えました。長い時間の中で積み重ねられてきたひとつひとつの行動や想いは、声高に語られずとも確かに受け継



宮崎JCシニアクラブ  
第65代会長  
松田 真義

がれ、今の宮崎JCのあり方を静かに形づくっています。その流れの中で、現役の皆様が日々の活動に真摯に向き合っている姿に確かな力を感じています。

本年度のスローガン「真価を示す PLUS ULTRA」には、これまで培ってきたものに誇りを持ち、そのうえで、さらに先へ進もうとする強い意志が込められていると感じます。節目の年だからこそ、その姿勢がより問われ、より輝く一年になるのではないのでしょうか。

私たちシニアクラブは、前に立つ存在ではありません。それぞれが歩んできた時間を胸に、現役の挑戦が途切れることなく続いていくよう、そっと支え、必要な場面で寄り添う存在でありたいと考えています。想いが自然に重なり合うことで、宮崎JCの運動は、これからも広がりを持ち続けていくはずで

す。本年度が、自らの価値を確かに示しながら、その歩みをさらに先へとつないでいく一年となることを願い、会長メッセージといたします。

## ブロック会長挨拶

一般社団法人宮崎青年会議所の皆様におかれましては、平素より宮崎ブロック協議会の事業に対し、多大なるご理解ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年度、宮崎ブロック協議会では「真の心でウェルビーイングな宮崎の未来へ」を基本理念に掲げ、県内各地会員会議者の皆様と力をあわせ、誰もが幸せと感じれる地域を目指し、1年間運動を展開して参ります。幸せな社会とはウェルビーイングな状態であると定義し、青年会議所活動を通じて得られる価値を高めることで、メンバー一人ひとりが地域にワクワクを生み出す存在となり、宮崎全体の発展につなげてまいります。

防災および環境分野においては、FCP (Family Continuity Plan) の普及とカーボンニュートラルの推進を両輪として取り組み、有事にも強く持続可能な地域社会の構築を目指します。また、現会員の約48%がアカデミー会員である現状を踏まえ、人財育成に注力するとともに、LOMの垣根を越えた連携を強化してまいります。さらに、理事長ミーティングの活用による情報共有や、会員拡大・ブランディング支援を通じて、各LOMの発展に寄与してまいります。引き続き、宮崎ブロック協議会の運動に対し、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



公益社団法人日本青年会議所  
九州地区 宮崎ブロック協議会  
会長  
河野 宏輝

## 京都会議

1月22日～1月25日に京都会議が開催され、宮崎青年会議所メンバーから約70名の会員が参加され、多くのメンバーが学びの機会を得ました。

日本青年会議所第1回理事会が開催され、星山顧問が委員長を務めるスポーツ人財育成委員会の議案が無事に審議可決され、これまでの準備と議論が実を結ぶ瞬間となりました。

2日目は国家フォーラム「The First Step to Action!～幸せは日常から始まる～」、地域フォーラム「Green Mind Bright Hope～カーボンニュートラルから始まる新しいライフデザイン～」などに参加し、これからの社会や地域のあり方について多くの学びを得る貴重な機会となりました。夜には宮崎青年会議所LOMナイトを開催し、シニアクラブの先輩方との交流や、姉妹JCである 檜原青年会議所 との合同懇親会を通じて、世代や地域を越えた絆を深めました。最終日には新年式典が行われ、加藤大将会頭より2026年度の運動方針が発表されました。

3日間の学びと交流を糧に、宮崎青年会議所としても地域の未来に向けた運動をさらに推進してまいります。



## 福岡ソフトバンクホークス交流事業

2月3日福岡ソフトバンクホークス様のご協力のもと、病気や障がいなどにより外出や学校生活が制限されている子どもたちを対象に、福祉施設訪問型の交流事業を実施いたしました。本事業は2004年より継続しており、「明るい豊かな社会の実現」を理念に、子どもたちへ夢や希望、前向きに生きる力を届けることを目的としています。

今回は、県立清武せいりゅう支援学校を訪問し、選手とのキャッチボールや交流を通して、子どもたちの笑顔が会場いっぱいになりました。準備は11月から始まり、青少年育成委員会を中心に入念な打ち合わせを重ね当日を迎えました。想定外の出来事もありましたが、事業終了後にメンバー同士で交わした「お疲れ様」の言葉や、保護者・先生方からの感謝の声を受け、この交流が子どもたちにとっても、私たちにとってもかけがえのない時間となったことを実感しました。

今後も地域の子どもの笑顔と未来のため、この取り組みを大切に続けてまいります。



THANK YOU

## 75周年事業 JCの山伐採セレモニー

2月22日75周年へ向けた節目の事業として「JCの山伐採セレモニー」を執り行いました。この山は、1976年の25周年事業として「未来ある子ども達の健やかな成長のために」との願いを込め、当時のメンバーが4,000本の苗木を植林した分収林です。

セレモニーでは当時の理事長である徳永定俊先輩よりご挨拶をいただき、未来を見据え行動した先人の想いを改めて学ぶ機会となりました。

約50年の歳月を経て大きく成長した木々は伐採され、その売却益は宮崎市内の子どもたちの夢を後押しする事業へと活用されます。これは単なる伐採ではなく、先輩方から受け継いだ「地域の未来を想う運動のバトン」を次の世代へつなぐ取り組みでもあります。

宮崎JCはこれからも地域の未来のため、運動を止めることなく歩み続けてまいります。75周年記念事業「子どもたちの夢を叶える事業」については、今後改めて発信してまいります。



## 新年挨拶会

1月13日新年挨拶会を開催し、約250名のご来賓・関係団体の皆様にご臨席を賜りました。近年でも最大規模となる会となり、多くの皆様から宮崎JCへの期待と激励をいただく貴重な機会となりました。

当日は、山崎隆太郎理事長より本年度の所信が示され、2026年度の活動方針と想いが共有され、メンバー一同、改めて身の引き締まる思いで新たな一年をスタートすることができました。本事業は昨年10月より準備を進め、委員会メンバーを中心に入念な打ち合わせを重ねて当日を迎えました。

本番では想定外の出来事もありましたが、メンバー一人ひとりが臨機応変に対応し、大きな混乱もなく式典を終えることができました。ご臨席いただいたご来賓の皆様、姉妹・友好JCの皆様、宮崎JCシニアクラブの先輩方に心より御礼申し上げます。スローガン『真価を示す PLUS ULTRA』のもと、地域の未来のために宮崎JC一丸となって運動を展開してまいります。今後とも変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



## 2月例会

2月9日西都青年会議所との合同による2月例会を開催いたしました。普段とは異なるLOMとの合同例会という特別な形での開催となり、互いの活動や考え方に触れることで、JCの広がりとうつながりを改めて実感する機会となりました。

メインアワーでは「ブロック会長公式訪問」を実施し、宮崎ブロック協議会会長河野宏輝君をはじめ会務役員の皆様にご来訪いただき、本年度の活動方針や各種事業についてご説明いただきました。出向の意義や魅力、挑戦することの価値について改めて考える機会となり、メンバー一人ひとりが自身の可能性に目を向けるきっかけとなりました。また懇親会では「カーボンニュートラル」をテーマとした脱炭素ゲームを実施し、楽しみながら環境問題について学ぶとともに、メンバー同士、そしてLOM同士の交流を深めることができました。

本例会で得た学びとつながりを力に変え、「明るい豊かな社会」の実現に向けて今後の運動へとつなげてまいります。



脱炭素ゲーム



## 会員拡大報告

2026年1月1日より会員拡大がスタートしました。本年度は全体事業として会員拡大を掲げ、50名の目標に挑戦してまいりました。

「みんなで、力を合わせて50(GO)ワッショイ!」をキャッチコピーに、事業説明会に加え、日々の声かけや紹介活動など、多角的な拡大運動を展開しました。その中で多くの出会いと交流が生まれ、宮崎JCの魅力を直接届けることができました。

また、シニアクラブの皆様にも、ご支援をいただき心より御礼申し上げます。その結果、最終的な会員拡大人数は39名となりました。

この活動を通じて生まれた繋がりと一人ひとりの行動は、確かな成果であり、次へと繋がる大きな一歩であったと感じております。

今後は新たな仲間とともに育成事業にも力を注ぎ、一人ひとりがこの宮崎JCでの経験を通じて成長し、それぞれの志を形にしていけるよう、委員会としても全力で取り組んでまいります。引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。





## サボテン

情報の密度が低くなり、世界が慌ただしくなっています。その泡沫にいる私もこの流れには抗えない状況です。覇道を極める国がその宗教的背景をもって世界を混乱させている現状に私はどうあるべきか。逡巡を巡らせ、ある話を思い出しました。ロシアがウクライナに侵攻した年、JCIの欧州大会が開かれました。ロシアの会頭は予想に反し参加され、そこにはウクライナの会頭も。ただ、そこに争いは生まれず、深い共感をお互い持つに至ったようです。何故か、各国会頭が壇上に上がったとき、ある国の会頭が一つの横断幕を掲げたからです”That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations”正にこの言葉を必要とする世界線が広がっていた訳です。例会の度に唱和する言葉は本来空虚なものではありません。当然、闇雲に国家を蔑ろにするのは子供のすることです。私達はこの言葉の本当の意味を今一度考え。行動に移す時が来そうな気がします。言葉の偉人、小林秀雄と数学の天才、岡潔の対談で最初に話されたことは「無明」についてでした。私達は膨大な情報の中で「知った気」になり無明のまま生きています。この世界でどう動くべきか、私にヒントをくれたのがJCでした。限られた時間、たくさん学んでください。

## 知っていると役にたつ!? 豆知識コーナー



### 豆知識 1



**靴のニオイは  
10円玉で軽減できる**

銅イオンに抗菌作用があるため入れておくと雑菌の繁殖を抑える。  
片足に5～10枚程度分散して配置。きれいな10円玉の方が銅イオンが多く発生しやすい。

### 豆知識 2



**イルカとクジラ違いは  
大きさ**

生物学的にはどちらも同じ「クジラ目」に属する哺乳類。主な違いは成体時の体長で、約4メートル未満を「イルカ」、4メートル以上を「クジラ」と呼ぶのが一般的。

### 豆知識 3



**カスタードクリームは  
拳銃の弾を受け止める**

その成分であるコンスターチが持つ「ダイラタンシー現象」により、強い衝撃を受けると一瞬で固体化するため、理論上、拳銃の弾を受け止めることが可能。防弾チョッキの素材としても研究されています。

### 豆知識 4



**世界で一番長い曲は、  
演奏が終わるまでに  
639年かかる**

アメリカの作曲家ジョンケージの《Organ<sup>2</sup>/ASLSP (As Slow as Possible = 可能な限り遅く)》  
ドイツの教会で2001年に始まった演奏は開始から1年半は無音。この曲の演奏が終わるのは、616年後の2640年。

### 豆知識 5



**鉛筆1本で線をかける  
距離は約50km**

えんぴつの芯(しん)をむき出しにして、けずらないで一本の線を引いてみると、50kmもの線を引くことができます。宮崎市役所～都城市役所までが約50km。

### 豆知識 6



**ピカソの本名は90文字  
(カタカナ表記)**

パブロ・ディエゴ・ホセ・フランシスコ・デ・バウラ・ファン・ネボムセーノ・マリア・デ・ロス・レメディオス・クリスピン・クリスピアーノ・デ・ラ・サンティシマ・トリニダード・ルイス・イ・ピカソ  
ピカソは洗礼名や家系の名を連ねるスペイン文化により長名となり、複数の名前を組み合わせることで名乗っていたため。